



教室の扉をひらく

みんなの学校をホームページで紹介し合おう！

友だち100人できるかなプロジェクトのホームページを作ろう！

千葉県柏市立旭東小学校 佐和伸明

メール：Nobuaki.Sawa@kiu.ne.jp

◆学年・教科 5年・総合的な学習（15時間）

◆ねらい

- ・情報を収集する活動などを通して、人と関わる力を高めることができる。
- ・集まった情報を工夫してホームページにまとめることで、情報編集力をつけることができる。
- ・共通の目的を持って交流を行うことで、相手を思いやる気持ちを育てることができる。

◆活動の概要

「友だち100人できるかな」プロジェクトに参加した11校の子どもたちは、1学期から様々な交流や協同学習を行っており、3学期は、その活動の集大成としてホームページ作成に取り組むことになった。自分の学校のホームページを自分たちで作成するのではなく、各校で11のグループを作ってそれぞれ担当の学校を決め、11校の子どもたちが情報を提供しあいながら、1つの学校のホームページをまとめあげるといった活動を行った。本校は電子掲示板に集まった情報を編集し、ホームページにまとめる作業を担当した。

◆利用したソフトウェア名

- ・Photoshop Elements（イラスト、GIFアニメ作成）
- ・Adobe GoLive（ホームページ作成）

◆活動の流れ

- 1 どんなホームページにしたいか、どんなことを載せたいかアイデアを出し合う。
- 2 アイデアをもとに練り上げて、素材を提供し合う。
- 3 集まった素材をもとに、ホームページ第1次案を作る。（本校）
- 4 第1次案について意見を出し合う。
- 5 出された意見をもとに、修正して第2次案を作る。（本校）
- 6 第2次案について意見を出し合う。修正後、公開する。
- 7 1年間のプロジェクトの活動を振り返る。

◆実践者から

各校の担当の子どもたちが、電子掲示板で相談し合い、その学校の特色や交流の様子がよくあらわれるようなテーマを決めるといのは、なかなか難しいことであった。また、ホームページ作成に必要な素材が思うように集まらず、困っている場面もあった。しかし、そんな子どもたちの意欲を支えていたのは、友だち100人プロジェクトに参加した全国の友だちと、日常的に楽しく交流してきた「絆」であった。そして、難しいからこそ、人と関わる力や情報編集力を高めることができたと考えている。また、この活動を支えてくださった、各校の先生方のコーディネート力なくしては、ホームページは完成しなかったであろう。今回の実践でも、子どもたちの学びのネットワークを広げるためには、「教員同士のネットワークづくり」が大切であることを実感した。

